

春の叙勲

政府は4月29日付けで、春の叙勲受章者を発表しました。国家または公共に対して功労のある人に、勲章が授与されました。



瑞宝
単光章

1971年12月に工業統計調査員となり、調査に従事。水稻などの農業を営む傍ら、商業統計調査、国勢調査など101回の調査に携わりました。「統計は国の計画の基礎」と信じて現在も調査員を続けています。受章について「妻が支えてくれたおかげ」と感謝し「健康でいる限り続けたい」と今後の活動にも意欲を見せました。

統計調査功労
工業統計調査員
おたふじお 76歳
太田二千夫さん 千厩町奥玉



瑞宝
双光章

徳壽院(花泉町)と常照寺(宮城県丸森町)の住職を兼務。一関地区保護司会理事副会長西分区長を務めています。30年前から保護司に。以来、罪を犯した人たちの聞き役に徹し、社会復帰を支えました。「再犯する人もいた。対象者は家族と違って接し、信頼関係を築いた」と振り返ります。「明るい世の中のために役立ちたい」と力強く語りました。

更生保護功労
保護司
いしかわせいき 73歳
石川正毅さん 花泉町花泉



瑞宝
単光章

1966年一関市消防団に入団。2013年3月に退団するまで48年間にわたり、火災予防と地域防災の普及に努めました。02年に発生した台風6号による災害では、救助船を準備しているうちに「目の前まで水が迫った」と振り返ります。受章について「身に余る光栄。団員の協力があったの」と感謝しています。

消防功労
元一関消防団
一関地域本部長
きつかわのりさだ 73歳
吉川徳貞さん 舞川



瑞宝
双光章

1963年から県南や気仙地方の郵便局に勤務。地域住民に信用される職員を目指し、41年間にわたり郵便事業に尽くしました。薄衣郵便局時代の水害では2階の窓から船を出して郵便物を運んだと当時を振り返ります。行政区長、人権擁護委員、統計調査員などを歴任。受章について「天職だと思って務めた。家族のおかげで続けられた」と喜びをかみしめていました。

郵便事業功労
元特定郵便局長
かさいかつなり 73歳
葛西功成さん 川崎町門崎



瑞宝
小綬章

1971年から盛岡第一、一関第一、宮古など県内の高校で教壇に立ち、花巻南高で校長を務めました。生徒の立場に立った指導を心掛け、指導方法を研究。教育センターで教員への指導も行いました。「生徒と信頼関係を感じる時が一番うれしかった」と教員時代を振り返ります。受章は「思いがけないことだった」と話していました。

教育功労
元公立高等学校長
ほそかわかつろう 72歳
細川勝郎さん 南新町



旭日
単光章

1975年に現在のニッコー・ファインメック株式会社を創業。小型家電の再資源化など先進的な取り組みを数多く行っています。90年に県産業廃棄物協会理事に就任。副会長を務め、最新リサイクル技術を導入するなど資源循環型社会の推進に尽力しました。「理解、協力してくれる家族、社員、地域のの人に恩返したい」と感謝しています。

環境衛生功労
元県産業廃棄物協会副会長
おのてらつかさ 70歳
小野寺司さん 千厩町奥玉



瑞宝
単光章

1956年川崎村消防団入団。93年3月の退団まで37年間、地域防災の普及や火災予防に力を尽しました。入団当時から「火災を未然に防ぐことが大切」と火防点検に力を入れました。川崎地域は水害が多く「千厩川で連絡用の渡し船を操作したことも思い出深い」と振り返ります。受章について、団員の協力に感謝し「昨年亡くなった妻のおかげ」と静かに話しました。

消防功労
元川崎村消防団第2分団長
このひろし 84歳
今野寛さん 川崎町薄衣



瑞宝
単光章

1959年2月に岩手県農林漁業統計調査員として調査に従事。以来、54回、国勢調査と農林業センサス、商業統計調査などに携わりました。「健康でこなせたことがなにより」とこれまでを振り返ります。地域統計調査員協議会の会長として、調査員のネットワークづくりなどに力を注ぎます。受章について「地域の協力と職員、妻の支えがあったの」と感謝しています。

統計調査功労
元各種統計調査員
おいかわさくら 78歳
及川佐久良さん 大東町中川



瑞宝
双光章

1965年に赴任した宮城県栗駒町立耕英中(当時)を皮切りに、黄海中、教育事務所や室根中で勤務。折壁小、千厩小、千厩中で校長を歴任しました。退職後もスクールカウンセラーを務め、児童生徒全員と面談するなど積極的に活動。子供の悩みに真剣に応じています。「受章は先輩や同僚の励ましのおかげ」と感謝し「今後も子供と関わっていききたい」と話しました。

教育功労
元公立中学校長
あべやち 77歳
阿部彌八さん 山目



瑞宝
小綬章

1960年3月、日本体育大学体育学部卒業後、同年4月に県立高校教諭に。66年4月から一関工業高等専門学校の講師として教壇に立ちました。同校助教授、教授、主任教授として、2001年に退官するまで保健体育を教えてきました。これまでの教員生活を「体を動かすことが大好きな自分。充実した人生だった」と振り返ります。

教育研究功労
一関高専名誉教授
おいかわりょう 78歳
及川了さん 末広1丁目

叙勲と褒章

叙勲・褒章は、国家や公共に対して功労のある人や、社会の各分野で優れた功績のある人などを表彰します。春秋叙勲・褒章(毎年4月29日・昭和の日と、11月3日・文化の日に授与)や、文化勲章(同11月3日)の他にも、いくつかの種類があります。叙勲には、一般に知られている春秋叙勲や文化勲章のほか、危険業務従事者叙勲(警察官、自衛官など著しく

危険性の高い業務に精励した者に授与)があります。授与される勲章の種類には、旭日章(きよくじつしょう)、瑞宝章(ずいほうしょう)、文化勲章(ぶんかくんしょう)などがあります。また、褒章の種類には紅綬(こうじゆ)、緑綬(りよくじゆ)、黄綬(おうじゆ)、紫綬(しじゆ)、藍綬(らんじゆ)、紺綬(こんじゆ)があります。*内閣府ホームページから抜粋



警察功労
元岩手県警視

1968年に県警入りし、一関署を皮切りに、釜石、大船渡、北上など各署で勤務しました。38年間、常に誠実な対応を心掛け、職務に当たりました。現在は、交通安全協会員として通学児童の見守りに従事。受章については「上司、同僚や家族の支えがあったこそ」と感謝し「これからも地域の安全に携わっていききたい」と地域安全への熱意を込めました。

こんあきら 70歳
昆明さん 関が丘



消防功労
元市消防司令長

1972年、両磐地区消防組合に消防士として採用。千厩消防署副署長、東消防署副署長、南消防署長などを歴任。2009年の退職までの37年間、常に火災などの災害発生の意識を持ち、地域防災に尽力しました。「上司や同僚の指導と家族の協力があったからこそ職務を全うできた。受章は周囲のおかげ」と感謝しています。

かとうまさひろ 67歳
加藤正廣さん 新町

危険業務従事者叙勲

政府は4月9日付けで、第26回危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。非常に危険性の高い業務に精励した人に勲章が授与されました。